

競 技 注 意 事 項

- 1 規 則
- ①本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。
 - ②本大会では、スタートを電子音で行う。日本陸上競技連盟競技規則 TR 16.5により、音声や動作その他の方法で他の競技者を妨害した場合、最初は注意（グリーンカード）に留めるが、繰り返し行う場合は、警告（イエローカード）を与えることがある。最初の警告を受けた後、2回目以降の警告を受けた場合は、その種目は失格とする。ただし、それ以降の競技からの除外は行わない。
 - ③シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の厚さは、日本陸上競技連盟規則 TR 5.2により 20mm 以内、競歩競技は 40mm 以内とする。また、千葉県総合スポーツセンターが使用を認めていないスパイクのピンは使用禁止とする。

- 2 練 習
- ①ウォームアップは、第2陸上競技場で行う。その時は、役員の指示に従い事故防止に努める。使用した用具は元の場所に返却すること。また、競技場にある用具以外の練習用具の持ち込みは原則禁止とする。
 - ②陸上競技場の雨天走路での練習は、走幅跳、三段跳の試技前のみとする。
 - ③投てき種目の練習は招集完了後、陸上競技場で行う。競技役員の指示以外による練習は、危険防止のため一切禁止する。
 - ④大会参加者以外の会場使用は認めない。また、スポーツセンター内園路での集団走は禁止とする。
 - ⑤競技開始後、第2陸上競技場でのピストルの使用は禁止とする。

- 3 招 集
- ①招集所は陸上競技場の正面玄関に設ける。
 - ②招集開始時刻及び招集完了時刻は、競技開始時刻を基準とし下記のとおりとする。

種 目	招集開始	招集完了
トラック種目	30分前	20分前
跳躍種目（棒高跳を除く）	60分前	50分前
棒高跳	90分前現地で招集完了	
投てき種目	60分前	50分前

- ③招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- ④競技者は、招集開始時刻から完了時刻までに、競技者自らがアスリートパス、競技用シューズ、衣類、持ち物等の点検を受ける。

- ⑤招集完了後、トラック競技の選手は出発係の指示に従い競技場に入場し、現地で点呼を受ける。また、フィールド競技の選手は競技場への入場を認め、競技開始前に現地で点呼を受ける。
- ⑥2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻までに所定の用紙を招集所に提出する。
- ⑦出場する種目を欠場する場合は、招集開始時刻までに欠場届を招集所に提出する。

4 入退場

- ①陸上競技場には選手および競技役員以外の入場は認めない。
- ②陸上競技場の観客席にはメインスタンド2階中央の指定された場所から、入退場すること。芝生スタンドにはメインスタンド裏の通路から行くこと。各ゲートからの入場はできない。また、メインスタンドの場所取りは禁止とする。
- ③コーチングエリアを4ヶ所、設置する。(メインスタンド・両サイドスタンド・バックスタンド)、コーチングエリアへの入場は、該当選手の試技時とし、指示後は速やかに退場すること。
- ④競技の際の入場は原則第3ゲート(200mスタート地点)とする。但し次の種目に参加する選手は第1ゲート(フィニッシュ地点前方)を利用する。
*300m・400m・800m・1500m・300mH・400mH・2000mSC
Aゾーン使用投てき種目
- ⑤退場については、トラック競技出場選手はレース終了後、第1ゲートから退場する。スタート地点に戻る場合は芝生スタンドを通行する。フィールド競技出場選手は競技終了後、入場したゲートより速やかに退場する。

5 アスリートビブス

アスリートビブスは胸と背にしわにならないようにのぼして四隅を結着し、切ったり、曲げてはいけない。ただし、跳躍競技については1枚を胸または背につけるだけでもよい。また、トラック種目は腰ナンバーカードを右腰後方につける。

6 番組編成

- ①トラック競技の予選の組及び走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに数字で示す。
- ②トラック競技の決勝の走路順は、番組編成員が抽選し招集所に掲示する。
- ③トラック競技の決勝への進出者は、写真判定を細部まで読み取り、1000分の1秒以上の差があれば優劣を判定し決定する。この方法により判定できない場合は、同タイムとなった該当の競技者、チームまたはその代理人によって抽選を行い、出場者を決める。

7 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

	練習	1	2	3	4	5
成年男子走高跳	1.90	1.95	2.00	2.05	2.10	以降 3cm
少年共通男子走高跳	1.85	1.90	1.95	2.00	2.05	以降 3cm
少年男子A棒高跳	4.10	4.20	4.40	4.60	4.80	以降 10cm
成年女子走高跳	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	以降 3cm
成年女子棒高跳	3.10	3.20	3.40	以降 10cm		

天候等により、審判長の指示で最初の高さを変更することがある。

8 競技からの除外

競技運営上必要と認めた場合は、トラック競技においてすべての競技者が競技を終了していない時点でも審判長が競技を打ち切ることがある。

9 用器具 競技に使用する用器具は競技場備えつけのものを使用する。

10 抗議 日本陸上競技連盟競技規則 TR 8 による。

11 商品名のついた衣類・バックを競技場に持ちこむ場合の規定

①上半身の衣類 製造会社／ロゴ：1ヶ所・40 cm²まで文字高さ 5 cm 以内
学校名／ロゴ 大きさ制限なしで前後に1つずつまで。

②下半身の衣類 製造会社／ロゴ：1ヶ所・40 cm²まで文字高さ 5 cm 以内
学校名／ロゴ 大きさ制限なしで1つまで。

③バッグ・タオル（ブランケット含む）

製造会社／ロゴ：1個・最大 40 cm²まで文字高さ 5 cm 以内

④ソックス・帽子・手袋（対になっているものはそれぞれに1つずつ）

製造会社／ロゴ：1個・最大 10 cm²まで文字高さ 4 cm 以内

12 開門・場所取り

①陸上競技場

開門時刻は8時とする。スタンド裏コンコースの場所取りは、各チームの代表者2名が7時50分に入場する。代表者2名は7時45分までに、野球場側のスロープ入口のチェーンの外に並ぶこと。メインスタンドの場所取りは禁止とする。また、雨天練習場男子トイレは走幅跳、三段跳の競技中の競技者のみ利用できる。男子更衣室は利用できない。

②第2陸上競技場

開門時刻は7時とし、出入り口は陸上競技場側の1カ所とする。練習のみの利用とし、テントの設置、場所取りは許可する。

③その他のテント設置可能箇所

国道16号側緑地帯、モノレール下とする。

④その他

- ・各チームの控え場所（テント設置）は原則1カ所とする。
- ・樹木等にロープを巻き付ける等の行為がないようにする。

13 その他

- ①横断幕の設置は1チーム1枚とする。設置場所は、メインスタンド・芝生スタンドともに最上段とする。のぼり旗については設置しない。
- ②スマートフォン、携帯電話、トランシーバー、ビデオカメラ、スマートウォッチ（受信機能があるもの）、音楽再生機器等を競技場内に持ち込むことはできない。
- ③競技場内では雨天時以外は傘の使用は認めない。
- ④2000mSC、やり投に出場する選手は、危険防止の為に必ずスパイクを着用する。
- ⑤プログラムの記載内容の訂正は早めにTICへ届け出る。
- ⑥セパレートレーンを使用する競技においては、フィニッシュ後は決められたレーンに沿って走り抜ける。
- ⑦控所、洗面所、競技場内外の清掃・整頓につとめる。
- ⑧女子更衣室では更衣のみを行う。貴重品等の管理は各自で行い、紛失盗難等には十分注意する。更衣室内の場所取りは禁止する。
- ⑨ホームストレート側本部席からフィニッシュライン付近の、役員室前のアウトフィールド部分の通行を禁止とする。
- ⑩ゴミは原則として各自で責任を持って持ち帰る。分別処理をして所定の場所に捨てても良い。
- ⑪競技中に発生した事故などについては、応急処置を主催者で行うが、以後の責任は負わない。
- ⑫アスリートビブスについて
 - ・一般、クラブ登録選手
今年度の千葉県陸上競技記録会、千葉県陸上競技選手権大会、千葉県クラブ対抗に出場した者は、その時に配付されたアスリートビブスを使用する。
配布されていない選手のアスリートビブスはTICで配付する。
 - ・高校生
高体連から配付された、令和7年度のアスリートビブスを使用する。
- ⑬各種目の1位の選手は、第2救護室の強化委員会控室に来ること。